

# AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



果樹林産センター 信方浩志郎

## 着果管理対策

7月の摘果で取り残した果実があると隔年結果防止効果が低下します。目残しが無いように手直し摘果を行いましょう。

## 品質向上対策

### ① マルチ被覆

糖度上昇、着色促進、チャノキイロアザミウマの忌避効果が期待できます。園地の状態に合わせて被覆時期や方法を選択しましょう。

| 方法    | 被覆時期      | 目的           | 条件             | 備考                  |
|-------|-----------|--------------|----------------|---------------------|
| 全面マルチ | 8月上旬～8月中旬 | 着色促進<br>糖度向上 | 耕土が深く根群分布が広い園地 | 乾燥しやすい園地では横径4cm時に実施 |
| 部分マルチ | 8月下旬～9月上旬 | 着色促進         | 耕土が浅く乾燥しやすい園地  |                     |

### ② フィガロン散布

1回目の散布から20日後に2回目の散布を行います。樹勢の低下している樹への散布は控えます。

- ・フィガロン乳剤（2回目） 満開後90日（早生80日）30000倍

### ③ かん水

夏季の雨量が少ない場合、減酸の遅れが心配されます。朝方になっても葉がまいている時は過乾燥なので3～5t/10aを目安に夕方かん水を行いましょう。

## 病害虫防除

黒点病の防除は、前回の散布から1か月経過もしくは累積降雨量が250mmに達した時が目安です。害虫の発生状況に応じて殺虫剤を混用しましょう。

### 黒点病

エムダイファー水和剤 6000倍（60日～2回）

チャノキイロアザミウマ・ミカンサビダニ

アグリメック 20000倍（7日～3回）

カイガラムシ類

トランスフォームフロアブル 20000倍（前日～3回）

### 果皮強化

バイカルティ

10000倍

※まとまった降雨が予想される場合は、防除効果を持続させるためにアピオンEを加用します。

・固着剤 アピオンE 10000倍（10ℓの水でよくかき混ぜて薄めてからタンクに入れる）